

# これが労働組合のやることか

## 動労千葉

86.11.18

No. 2409

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

### 動労水戸の21名に対し「組合権停止」処分の暴挙

十一月四日、動労水戸地本において、二一名の同地本組合員に対して「組合権停止」処分という暴挙が行われた。骨のズイまで腐り切った動労革マル松崎は、十万人首切りの分割・民営化に反対しているからというデタラメな理由をもって処分攻撃をかけてきたのだ。

#### 高野君の追悼集会と十万人首切りに反対しているから「処分」

動労水戸地本は、水戸支部十四名、大子支部五名、勝田支部二名、計二十一名の役員や青年部員に対して「組合権停止」処分を行ってきた。その「処分理由」は、

- 一、水戸支部青年部が、分割・民営化に抗議自殺した職場の仲間の高野弘樹君（国労水戸分会組合員）の遺志をひきつぐ闘いを行い、ニュースをだした。
- さらに、十万人の仲間を首切る分割・民営化絶対反対、人材活用センター廃止の街宣を行った。
- 二、大子支部青年部が、マル生運動（学習会）は組合を破壊するものであり、間違っていると主張しつづけた。
- 三、地本が、「国労解体」を行っていること、さらに鉄労や鉄産協の御用組合と一体となり、動労を解体しようとしていること、「動労綱領や規約」に反して「新組合」＝「全日本鉄道労働組合連合（鉄道労連）」を作ろうとしていること―こんな重大問題を何一つ、正式な機関にもかけず、組合員の意志と信を問わないやり方は誤っているという質問、追及を行ったこと。

このことであるが、十万人の国鉄労働者が首切り攻撃のなかで労働組合として、組合員として当然のたたかい、行動を行ってきたのであり、何一つ「処分」され

#### 国労・動労青年部が合同追悼集会を開く

国鉄職員自殺  
水戸市千波町の国鉄職員高野弘樹さん。水戸市千波町に先月、職員寮屋上から飛び降り自殺した事件で、高野さんの所属していた国労水戸地本水戸機関区青年部と、動労水戸支部青年部は三日午後五時から、水戸市宮町二丁目の同機関区で、

#### 合同追悼集会を開いた。

この集会は、「高野さんの死は分割・民営化による雇用不安が原因で、組合を超えて全職員が高野さんの遺志を継いで戦っていかなくてはならない」として開かれた。

#### 立ち「高野君の、死をかけた抗議を無視にするな」と呼びかけた。

また国労水戸地本青年部では、高野さんの自殺に抗議し、分割・民営化に反対するため、四日午後一時から有志数人が、国鉄水戸駅前（四十八時間のハンガー・ストライキ）に入ることを決めた。

る理由などないではないか。

#### 動労は、安保賛成、自衛隊

#### 君が代・日の丸支持

いま、動労革マルは、鉄労などとともに来年四月の新しい「労働組合」をデッチあげようとしている。

この「新組合」なるものは、労使協調・安保条約に賛成し、自衛隊・日の丸・君が代を支持する全民労協へ参加し、そして、共産主義と対決する反共主義を綱領としてかかげている。

この綱領は、明らかに「労働組合」自らが、会社のためと合理化、首切り、低賃金、労働強化の地獄へ労働者をたたきこみ、日の丸をかかげた産業界国会一侵略戦争へ労働者をかりたてようとするものだ。

#### たたかう者を「処分」排除、「タレ込み、ぬけがけ」が横行

すでに全国の動労職場では、マル生運動を推進する組合に完全に変質し、役員は当局とベタつき、次々とマル生組織をデッチあげ、それに入れば雇用が守れるなどとオルグし、非番・公休日を返上させて無人駅舎の清掃や増収活動に動員させている。一方で、最も重視すべき運転保安や、労働条件の取り組みが全くおざなりにされているという。

動労革マルがすすめている「新組合」運動とはこういうものだ。こんな「組合」の未来は、それこそ地獄でしかない。動労革マルを全国、全職場から一掃せよ。